

令和3年度 宇佐市功労者表彰

【一般表彰】

(敬称略)

No.	区分	氏名・団体名	年齢等	住 所	功 績 等
1	3-1	ありせ 有瀬 義徳	86	大字城井	<p>氏は、平成14年に宇佐土地改良区理事に就任。筆頭理事を歴任し、平成22年12月から令和3年4月まで10年有余の長きにわたり理事長を務めた。その間、国及び県営土地改良事業で造成された頭首工3施設、幹線・支線水路21路線の維持管理適正化事業を推進、基幹水利施設管理事業や国営造成施設管理体制整備事業等に積極的に取り組み、かんがい用水の安定的な供給や施設の適切な維持管理に努めた。</p> <p>また、同改良区で管理する広瀬井路、平田井路の世界かんがい施設遺産の登録に向けて申請や関係団体等への要請活動等に尽力し、国内審査の通過へと導いた。令和3年3月には農林水産大臣表彰を受賞。本市の農地保全や整備に果たした氏の功績は多大である。</p> <p>さらに、平成9年4月から令和3年3月まで20年以上の長きにわたり市建築審査会委員を務め、その豊富な知識と経験をもって公正な調査審議を行い、公共福祉の増進に寄与した。</p>
2	3-1	ときえだ 時枝 憲幸	67	大字上時枝	<p>氏は、昭和63年5月に市消防団へ入団。以来、32年有余の長きにわたり終始一貫消防精神に徹し、消防団員の資質向上や火災予防思想の普及等に努めた。</p> <p>平成29年4月から令和3年3月までの4年間は宇佐市消防団長に就任。地域防災の中核である消防団活動の円滑化を図るとともに、市民の生命・身体・財産を守るべく率先して任務の遂行に尽力した。</p> <p>本市における消防活動の発展に果たした氏の功績は多大である。</p>
3	3-1	たかなみだに 高並谷 まちづくり協議会 (会長：佐藤 強)	-	院内町小稲	<p>平成23年11月、一つの集落では解決し難い身近な課題に対して小学校単位で取り組む「地域コミュニティ組織」を設立。いこいの森におけるアジサイ植栽や東屋設置等の整備、菊芋や柚子の漬物といった特産品の開発、石橋周辺や通学路の景観づくり、高並ふれあい祭りの開催、高齢者宅の粗大ごみ運搬支援等、地域に密着した活動等に取組んでいる。</p> <p>昨年度、今後10年間の「まちづくり計画」を策定するにあたり、新たに、地域活動お助け隊、若者チーム、といった有志の集まりを加える等、次なる取組みについて尽力した。</p> <p>これまでの取組をより発展させ今後の活動につなげようとする会の姿勢は、地域住民同士が力を合わせ、考え、行動し、より住みよい地域を作り上げようとする住民自治の推進に大きく貢献している。</p>

令和3年度 宇佐市功労者表彰

【一般表彰】

(敬称略)

No.	区分	氏名・団体名	年齢等	住 所	功 績 等
4	3-1	あじむちく 安心院地区 まちづくり協議会 (会長：中原 徹二)	-	安心院町 下毛	平成23年12月、一つの集落では解決し難い身近な課題に対して小学校単位で取組む「地域コミュニティ組織」を設立。空き店舗を利用した無料映画サロンや、秋のウォーキングの開催、あいさつ運動推進啓発、安心院小学校と共同した「安心院七不思議マップ」の制作、国道500号での手作りイルミネーション装飾など、地域資源を活用した取組等を行っている。 昨年度、今後10年間の「まちづくり計画」を策定するにあたり、新たに、高齢者支援をはじめとした健康福祉の充実、青少年の健全育成・生涯学習の推進、安心安全な生活のための環境整備、の3つの目標を設定する等、次なる取組みについて尽力した。 これまでの取組をより発展させ今後の活動につなげようとする会の姿勢は、地域住民同士が力を合わせ、考え、行動し、より住みよい地域を作り上げようとする住民自治の推進に大きく貢献している。
5	3-1	ひがいんない 東院内 まちづくり協議会 (会長：加来 榮一)	-	院内町副	平成23年12月、一つの集落では解決し難い身近な課題に対して小学校単位で取組む「地域コミュニティ組織」を設立。椎茸駒打ち体験等院内中部小学校への支援、草刈りや墓掃除、障子張り替え、粗大ゴミ運搬等高齢者支援、副城址祭りの支援など、地域の子どもや高齢者を支える活動等に取り組んでいる。 昨年度、今後10年間の「まちづくり計画」を策定するにあたり、新たに、住民同士の交流活動推進、新しい人材の確保等の課題解決の改善策を明記する等、次なる取組みについて尽力した。 現在の取組をより発展させ今後の活動につなげようとする会の姿勢は、地域住民同士が力を合わせ、考え、行動し、より住みよい地域を作り上げようとする住民自治の推進に大きく貢献している。
6	3-2	こうその 香園 たかね 孝直	78	大字四日市	氏は、昭和60年に藤間流日本舞踊「藤間雪音（ふじまゆきね）の会」を設立。現在も十数名の弟子を抱え毎週教室を開催し、後継者の育成に励んでいる。 昭和63年から「四日市天神祭り」において山車の上で日本舞踊を披露しているほか、市内の主要な祭り等にも多数出演し、行事に華を添えている。平成元年からは、毎年、宇佐文化会館で市民への日舞の発表を兼ねて「おさらい会」を開催。さらに、平成2年からは、藤間雪音の会で年5回、市内の福祉・介護施設へのボランティア訪問を続けており、平成23年に県知事より感謝状を受け、平成25年に県社会福祉協議会会長より表彰状、厚生労働大臣よりボランティア功労者感謝状を受けた。 また、市文化協会発足当初から理事として運営に携わり、平成20年度から令和元年度までの12年間は副会長として協会の発展に尽力した。 氏の長年にわたる活動は、本市における日本舞踊の普及発展、技能継承に大きく貢献している。